

中小企業診断士の視点

第19回 補助金の活用事例



中小企業診断士 古賀 雄子
一社)埼玉県中小企業診断協会

政府が補正予算を組む時期に突入しました。この予算の見直しの中で追加的な補助金が施策化されます。事業者の皆様にとって、チャンスの到来です。また、我々、中小企業診断士にとっても事業者の支援活動に精力的に取り組む時期でもあります。今回は、筆者が今年度ご支援した「小規模事業者持続化補助金」の活用事例をご紹介します。

まず、法人化した美容師さんのケースです。緩やかな景気回復基調の中、法人の広告宣伝需要が高まっています。また、日本映画の好調な興行傾向や、テレビ制作などコンスタントな需要も存在しています。これらの市場で、スタジオ・カメラマン・モデルの手配などを一切引き受ける撮影ディレクションという高単価で旨味があるワンストップ型サービスのニーズがあります。この事業者は、法人化により、信用力を活かした取引が可能となったことで、撮影ディレクション事業への進出が可能となりました。事業者の培ってきた人脈に加え、作品などの実績をアピールするため、平成28年度の補正予算の小規模事業者持続化補助金の申請を行い、その採択を受け、ホームページを法人向け販促ツールとして改良することにしました。競合や顧客の情報収集を行い、オリジナル性を打ち出し、競合と差別化のためのコンテンツを用意し、事業が分かりやすく発信される内容を企画しました。撮影を終えた作品は随時アップロードし、閲覧者が実績を紹介・検索できるものとししました。法人からの引き合いもすでにきています。補助金のお陰で、若者が夢に向かって羽ばたくスタートラインに立つことが可能となりました。

次に、人も羨む某有名ブランド企業を退職し、高い志をもって自らの道を歩み始めた女性事業者の事例です。彼女は、個人向けサービスに注力し、個人の心のケアに携わっていますが、個人向けサービスでは売上単価が低く、固定費を賄えるほどの収益を生み出せません。そこで、法人向けのサービスに参入することで収益を確保し、個人向けサービスも継続できないかと考えました。彼女自身は、新聞社数社から取材を受けた実績もありますが、ホームページで実績をアピールしたくても制作コストの負担が大きく手も出せない状況でした。これを救ったのが小規模事業者持続化補助金です。平成28年度の追加補正予算のものを獲得し、現在対応中です。ホームページだけで道が拓けるわけではありませんが、この制作過程で、法人向けビジネスモデルを考え、顧客へのアプローチ方法を見直すことで、事業者も成長し、販促も可能となり、相乗効果が得られます。

このように事業者の皆様のご成長を後押しするための補助金を是非ご活用ください。

【問い合わせ先】

埼玉県中小企業診断協会

ホームページ：<http://sai-smeca.com/>

電話：048-762-3350

Eメール：rmcsai@nifty.com